

# 全国数学教育学会 第23回研究発表会 プログラム

日時：平成18年1月28日(土)・29日(日)  
会場：熊本大学教育センター  
(熊本市黒髪2丁目40-1)

(注) 研究発表時間は、1件につき、  
発表18分・質疑応答7分の計25分です。

第1日 1月28日(土)

## A会場 (C-101)

■13:30～13:55

- A1. 鶴川 護(広島大学大学院生)  
小学校低学年における数概念の形成過程に関する研究

■13:55～14:20

- A2. 西部純一郎(奈良教大大学院生)  
算数・数学教育におけるノートを利用した学習に関する研究－ノートに関する学習方略に焦点を当てて－

■14:20～14:45

- A3. 笠原道宏(上越教大大学院生)  
子どもの自律性を視点とした算数の授業改善に関する研究－正しいということがどのようにして決まるべきかに焦点を当てて－

■14:55～15:20

- A4. 新井佳奈(奈良教大大学院生)  
児童の特性をふまえた小学校算数の学習指導に関する研究

■15:20～15:45

- A5. 柳健(上越教育大学院生)  
小学校算数授業構成における図的表現に関する研究－認識論的三角形を視座として－

■15:45～16:10

- A6. 川又由香(新潟大学大学院生)  
文章題における図的表現に関する調査研究－小学校1-4年生を対象に－

■16:20～16:45

- A7. 尾藤直樹(奈良教大大学院生)  
中学校数学における数学的な表現力に関する研究－よみ活動を通して－

■16:45～17:10

- A8. 榎根浩(上越教大大学院生)  
中学数学への接続を視点とした算数の授業改善に関する研究(4)

## B会場 (C-102)

■13:30～13:55

- B1. 廣瀬隆司(兵庫教大大学院生)  
算数教育における「速さ」の概念獲得過程に関する研究(5)－「速さ」に関する概念的知識と手続的知識の相関に関連して－

■13:55～14:20

- B2. 坂井武司(兵庫教大大学院生)  
子供の「割合」における概念獲得過程に関する研究(II)

■14:20～14:45

- B3. 谷憲一郎(愛媛大学大学院生)  
算数・数学学習における規範に関する研究(1)

◆14:45～14:55 休憩

■14:55～15:20

- B4. 垣水修(新潟大学教育人間科学部)  
算数・数学学習における情報の整理と表現－関係性の理解とネットワークの構成－

■15:20～15:45

- B5. 鈴木一弥(新潟大学大学院生)  
図形認識にかかわる図形感覚の研究

■15:45～16:10

- B6. 佐藤秀彦(上越教大大学院生)  
生徒の目的意識の形成を大切にした数学の授業構成に関わる研究－シソーラを手がかりにして－

◆16:10～16:20 休憩

■16:20～16:45

- B7. 山田篤史(愛知教育大学)  
数学的問題解決過程における認知プロセスに関する研究

■16:45～17:10

- B8. 日野圭子(奈良教育大学)  
研究への参加を通して教師に何が起っていたか：「子どもに図をかかせろ」実践の創造に焦点を当てて

## C会場 (C-201)

■13:30～13:55

- C1. 長谷川勝久(九州女子短期大学)・齋藤昇(鳴門教育大学)  
ニューラルネットワークを利用した観点別評価における学校数学問題分類システムの開発

■13:55～14:20

- C2. 秋田美代・齋藤昇(鳴門教育大学)  
空間図形における創造性テストと創造性態度との関係

■14:20～14:45

- C3. 齋藤昇(鳴門教育大学)  
空間図形における創造性と学習内容の理解との関係

■14:55～15:20

- C4. Natcha Prakitipong(広島大学大学院生)  
Analysis of Mathematics Performance of Grade Five Students in Thailand

■15:20～15:45

- C5. Uddin Md. Mohsin(広島大学大学院生)  
The Impact of In-service Teacher Training by Primary Training Institutes in Bangladesh (1): Focusing on Subject Knowledge, Pedagogical Skills and Attitudes of Mathematics Teachers

■15:45～16:10

- C6. Ogwel, J. C. A. (広島大学大学院生)  
Interactive Learning of Mathematics in Secondary Schools: Core Elements of Regular Classrooms

■16:20～16:45

- C7. 金康彪(広島大学大学院生)  
近代中国の数学教育における日本の影響に関する研究

■16:45～17:10

- C8. 阿部好貴(広島大学大学院生)  
数学教育におけるリテラシーの育成に関する研究(5)

## D会場 (C-202)

■13:30～13:55

- D1. 新宅紀雄(広島大学大学院生)  
図形学習における動的な見方の育成に関する一考察

■13:55～14:20

- D2. 田中慎一(鳥取大学大学院生)  
生徒が推測を構成するために教師は何をすべきか－動的幾何環境における証明の学習指導に焦点を当てて－

■14:20～14:45

- D3. 西岡亮平(広島大学大学院生)・今岡光範(広島大学大学院)・富田真吾(広島県立広島高校)  
フレームの動きを取り入れた図形教材の考察－工学的な背景をもつ教材の発展－

■14:55～15:20

- D4. 山口清(元広島大学教育学部)  
数に関連した行列教材

■15:20～15:45

- D5. 川本正治(広島大学大学院生)  
工学技術を学ぶ上で必要な数学の考察－電気系分野における数学の利用方法を中心として－

■15:45～16:10

- D6. 春名聡子(広島大学大学院生)  
数学科における証明の表記に関する研究(1)－表記の段階を設定することについて－

■16:20～16:45

- D7. 鈴木敬介(上越教大大学院生)  
中学校における文字式指導に関する基礎的研究－現職教員の立場からみた実践的研究課題について－

■16:45～17:10

- D8. 古川真哉(上越教大大学院生)  
文字式の理解に関する背景的・根源的要素についての研究

開会行事(17:20～17:40) 会場:C-301

懇親会(18:00～20:00)

会場：くすの木会館(大学構内)

第2日 1月29日(日)

A会場 (C-101)	B会場 (C-102)	C会場 (C-201)	D会場 (C-202)
■9:00-9:25 A9. 梶川雄二(米子工業高等専門学校) ドイツと日本の数学教育の比較	■9:00-9:25 B9. 渡辺信(東海大学) 「数学は役立つか?」と問いかけること	■9:00-9:25 C9. 高田学(高知大学大学院生) 算数教育における有用性を感得させるための教材開発についての研究(2)	■9:00-9:25 D9. 中平晃(高知県横浪小学校) どのような質の数学的知識を子どもたちは構成するのか
■9:25-9:50 A10. 岩崎浩(上越教育大学) 平方根の本質的性格の体験的理解を図る授業の開発的研究:1年目の教授実験と2年目の教授実験の比較を通して分かってきたこと	■9:25-9:50 B10. 中野俊幸(高知大学教育学部) レトリック的記号論からみた数学学習について	■9:25-9:50 C10. 松浦武人(広島大学大学院生) 児童の確率判断の実態に関する縦断的・横断的研究	■9:25-9:50 D10. 矢田教之(高知県佐古小学校) 「数の美しさ」の感得に関する研究
◆9:50-10:00 休憩			
■10:00-10:25 A11. 村嶋威一郎(広島大学大学院生) 学校数学における数学的モデル化についての考察(V)-数理化の過程に対する実験授業からの示唆-	■10:00-10:25 B11. 山田浩貴(兵庫教大大学院生) 同型問題の比較による文章題の解決-問題表象に焦点をあてて-	■10:00-10:25 C11. 瀬沼花子(国立教育政策研究所) 小・中・高等学校で数学観はどう変わっているか-1989年から2004年までの分析-	■10:00-10:25 D11. 堅田一郎(高知県山田高校) 証明の説明(理解)としての機能について
■10:25-10:50 A12. 池田誠(広島大学大学院生) 数学的な考え方を重視する中学数学の指導に関する研究(1)	■10:25-10:50 B12. 清水浩士(広島大学大学院生) 数学の発展的学習における問題づくりに関する研究(1)-重層的にあらわれる再帰的な理解過程-	■10:25-10:50 C12. 国本景亀(高知大学) 教師養成事始め(II)	■10:25-10:50 D12. 前田淳一(広島大学大学院生) 高校数学における無限概念の育成に関する研究(V)-極限概念の理解の深化を目指して-

全体会(11:00-12:30) 会場:C-301

テーマ:算数・数学授業改善のための教材開発ワークショップ

司会者:川寄道広(大分大学教育福祉科学部・教授)

プレゼンター:  
 國本景亀先生(高知大学教育学部・教授)  
 宮脇真一先生(熊本大学教育学部附属小学校・教諭)  
 米田重和先生(熊本県西合志南中学校・教諭)  
 平岡賢治先生(長崎大学教育学部・教授)

◆12:30-13:30 昼休憩

A会場 (C-101)	B会場 (C-102)	C会場 (C-201)	D会場 (C-202)
■13:30-13:55 A13. 栗原英樹(広島大学大学院生) コミュニケーションを生かした算数科授業の基礎的研究(2)-記号の機能に着目して-	■13:30-13:55 B13. 植田幸司(広島大学大学院生) 相互作用主義に基づく数学学習指導の構築(V)-間接証明法の認識における社会的相互作用-	■13:30-13:55 C13. 柳田大介(広島大学大学院生) 理解を重視する高校数学の指導に関する研究(V)-三角比の授業実践を通して-	■13:30-13:55 D13. 平岡賢治(長崎大学)・佐々祐之(鹿児島大学)・植村哲郎(鹿児島大学) 複式学級における算数科指導の改善に関する調査研究(1)
■13:55-14:20 A14. 真野祐輔(広島大学大学院生) 数学学習における概念変容に関する研究(IV)-教材分析における歴史的アプローチの教授学的意義-	■13:55-14:20 B14. 今井一仁(広島大学大学院生) 状況的学習論に基づく数学学習環境「お菓子を分けよう」の実践的検討	■13:55-14:20 C13. 木根主税(広島大学大学院生) ザンビア基礎学校の数学教育における活動中心型アプローチの現状と課題	■13:55-14:20 D14. 佐々祐之(鹿児島大学)・岡賢治(長崎大学)・植村哲郎(鹿児島大学) 複式学級における算数科指導の改善に関する調査研究(2)
■14:20-14:45 A15. 針原謙一(鹿児島大学大学院生) 中学校数学「数量関係」領域の学習指導に関する研究(1)-数学的モデリングの捉え方とそれにもとづく教材開発の一試案-		■14:20-14:45 C15. 馬場卓也(広島大学大学院生) 動詞型カリキュラムの基礎的考察(1)-学習指導要領の動詞による分析を中心に-	■14:20-14:45 D15. 米田重和(熊本県西合志町立西合志南中学校) 「数字カード」を利用した「数と式」の教材開発-『数の本』の教材の中学校における活用-